

2級 (E)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
う	か	た	に		つ		わ	の	あ	し	こ	さん	き	だ	ふ	ばい	こ	て	そ	そう	う	きん	ない	ち	じ	へん	じ	き	し
た	た	て	お	き	つ	は	ず	の	き	ゃ	う	ろ	つ	み	う	いし	う	い	ろ	し	く	し	っ	よ	ん	っ	し	よう	く
い	わ	まつ			ぬ		ら	し	ら	めん	ぼく	う	もん	ん	そう	やく	そ	い	う	ん	く	う	っ	かつ	じゅ	せん	せん	し	く

1×30

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	エ	ア	イ	エ	ウ	ア	オ	ア	イ

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
土	二	𠂔	隹	爪	𠂔	門	自	彡	子

2×10

1×10

15	14	13	12	11	問2	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	問1
ウ	キ	オ	ア	カ	意味	吉凶	抑揚	論功	一騎	比翼	乱麻	辛苦	多岐	空拳	青松	書き取り

2×5

2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
墨	隅	警部	軽侮	一貫	一環	呼称	湖沼	短銃	胆汁

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
唐突	傑出	由緒	枢軸	扞拭	枯渴	墮落	肥沃	衰微	点在

2×10

2×10

5	4	3	2	1
症例	音頭	包括	押収	難渋

(九) 書き取り

2×25

5	4	3	2	1
矯める	滅ぼさ	廃れ	涼しかつ	怠ら

(ハ) 漢字と送りかな

2×5

5	4	3	2	1	
未	与	脅	撤	肖	誤
魅	余	響	徹	祥	正

(七) 誤字訂正

2×5

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
眉	寝	破竹	碎	懷	井	外面	担	氷雨	瀬戸際	畝	絡	伴侶	壮大	開襟	富貴	搾取	陳腐	洞窟	便宜

(下へつづく)

準2級

(E)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
おそれ	しぶしぶ	きいと	すす	すた	たなだ	ますめ	いくえ	しるこ	たまわ	こうけん	けんさく	ぞうわい	とくそく	くうそ	きゅうせい	かぶん	ちゅうよう	びようとう	ぼうが	かいゆ	さいせき	きが	こんいん	たいと	しゅうりよう	べっそう	のうこう	くちゅう	りゅうさん

1×30 (30)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エ	オ	ウ	エ	ア	ウ	イ	ア	ウ	イ

2×10 (20)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
𠂇	田	𠂇	革	言	夕	車	𠂇	𠂇	𠂇

1×10 (10)

設問(三)と(四)問2はマークシート方式です。						15	14	13	12	11	問2 意味
						ア	ウ	カ	エ	イ	

2×5 (20)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
白	端	尚	恒	心	仲	暮	励	裏	発

2×10 (30)

問1
書き取り

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
釣	尽	盲	耗	宜	欺	剩	乗	蛮	晩

2×10 (20)

(六) 同音・同訓異字

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
撲滅	厄介	運搬	前途	罷免	混乱	撤退	拒否	卑下	繁荣

2×10 (20)

(五) 対義語・類義語

5	4	3	2	1
覚悟	逸話	感慨	奔走	屈折

2×5 (50)

(九) 書き取り

5	4	3	2	1
与え	眠たく	煩わし	預ける	漂う

2×5 (10)

(八) 漢字と送りがな

5	4	3	2	1
粧	採	征	符	責
装	栽	制	譜	析

2×5 (10)

(七) 誤字訂正

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
粗	償	雄	扱	稼	雨漏	据	弔	背丈	果敢	焼失	募金	亜流	惨禍	色彩	下旬	機嫌	雰囲気	帰還	大蛇

(下へつづく)

（公財）日本漢字能力検定協会

(E)

 1×30
$$2 \times 15$$
$$\overline{2 \times 5}$$
 1×10 2×10 1×10
$$2 \times 10$$
$$\overline{2 \times 5}$$
 2×10
$$2 \times 5$$
$$2 \times 20$$

4級 (E)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(一) 読み
あ	あと	そ	た	か	は	め	せ	ほ	ね	ち	が	し	はん	し	げ	せ	じ	く	ほう	き	し	ち	そう	ろ	せい	かん	がん	あん	じ	(30)
せ	かた		が	お	ら	ぐ	ま		む	ゅう	が	ゆ	き	ゆ	き	さい	よ	の	う	げ	う	やく	こう	ぜん	ぼ	い	ん	ん	ん	

1×30

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
オ	イ	ウ	ウ	オ	ア	ウ	エ	イ	ア	ウ	エ	イ	ア	オ
透	済	澄	陰	因	印	捕	補	舗	帽	肪	坊	陽	踊	謡

2×15

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	イ	エ	ウ	ア	オ	イ	ア	イ	エ

2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
密	困	白	堅	在	浮	賛	務	異	熟

2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
転	里	災	辞	戦	腹	途	後	長	脚

2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
柔	羽	外	色	被	抗	応	増	握	均
和	毛	泊	彩	害	議	援	殖	手	等

2×20

5	4	3	2	1
コ	ク	キ	エ	イ
挾	婚	微	即	盗

2×5

設問(二)～(五)はマークシート方式です。

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ア	ア	イ	ウ	エ	イ	エ	イ	ウ	エ
戈	几	𠂇	士	虫	𠂇	日	冂	言	之

1×10

5	4	3	2	1
裁	敬	汚	従	触
く	わ	い	っ	れる

2×5

5	4	3	2	1	
岸	協	体	弱	検	誤
願	供	態	寂	険	正

2×5

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11
針	壊	叫	基	至	枯	裏	幾	乾	熱
						切	多	燥	烈

第2回 日本漢字能力検定 標準解答

(公財) 日本漢字能力検定協会

5級 (E)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
い	あ	き	り	そ	い	ほう	わ	こ	う	た	す	さん	わ	し	い	かん	お	じ	ふ
た	や	ょう	ん			もん	れ	っ	ち	か	い	さん	す	お	さん	け	さ	ゅ	
	ま	ど	じ					く	わけ	ら	しん	び				つ	な	り	つ

(一) 読み (20) 1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
14	11	4	2	13	9	10	6	10	7

(三) 画数(算用数字) (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
キ	え	カ	い	才	き	ア	け	コ	か

(二) 部首と部首名記号 (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	ア	エ	ア	ウ	イ	ウ	エ	ウ	ア

(五) 音と訓(記号) (20) 2×10

5	4	3	2	1
痛む	従える	済ます	並べる	激しく

(四) 漢字と送りかなひらがな (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
翌	己	賃	著	異	片	難	退	暖	閉

(七) 対義語類義語(一字) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
株	処	割	権	危	創	段	宣	模	完

(六) 四字の熟語(一字) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
遠	沿	勤	努	読	討	視	支	乱	覧

(十) 同じ読み漢字 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エ	ア	エ	ウ	イ	ウ	ウ	イ	エ	ア

(九) 熟語の構成(記号) (20) 2×10

5	4	3	2	1
ウ	イ	オ	カ	キ
ケ	コ	エ	ク	ア

(八) 熟語作り(記号) (10) 2×5

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
恩	興	筋	頭	演	届	区	縦	暮	警	刻	除	貯	故	垂	批	胸	盛	座	姿
	奮		脳	奏		域			察			蔵	障		評			席	

(十一) 漢字 (40) 2×20

6級 (E)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
つ	も	く	りやくず	も	み	せいけつ	じゅんじよ	な	はんが	けいけん	きようぎ	じようほう	こころよ	はかまい	いきお	ないよう	は	ぶんかざい	こうしゃ
み	う	ら			き														

(一) 読み
(20)

1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
彳	ウ	心	コ	冫	力	乚	才	イ	ク

5	4	3	2	1
逆らう	破れる	囲む	易しい	混ぜる

(二) 漢字と送りかなひらがな
(10)

2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	イ	イ	エ	ア	エ	イ	エ	ア	ウ

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
7	3	6	3	12	9	8	2	14	11

(四) 画数(算用数字)
(10)

1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
忘	質	眼	復	職	過	益	賛	減	団

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
術	圧	導	格	陸	毒	統	条	許	故

(六) 三字のじゆく語(一字)
(20)

2×10

9	8	7	6	5	4	3	2	1
基	紀	寄	測	則	貸	借	採	災

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ア	ア	エ	ウ	イ	ウ	イ	ウ	エ	ア

6	5	4	3	2	1
キ	ア	シ	コ	イ	エ

(八) じゆく語作り(記号)
(12)

2×6

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
任	確	属	禁止	保護	夢	営	輸入	演	準備	迷	銀河	示	弁当	喜	衛星	花粉	余	調査	限

(十) 漢字
(40)

2×20

第2回 日本漢字能力検定 標準解答

(公財) 日本漢字能力検定協会

7級

(E)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
どりよく	ち	れいねん	しんきろく	のこ	れんじつ	やぶ	しろ	きよくげい	みんしゆく	かた	ぐんて	かなら	たば	ねが	か	ちよう	ぎだい	かじつ	しず

(一) 読み (20) 1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(三) 漢字えらび(記号) (20)	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(二) 読み (10)
ウ	ア	イ	ウ	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア		あらた	かいりよう	あ	せんきよ	たよ	べんり	いわ	しゆくじつ	ま	と	
										2 × 10											1 × 10

5	4	3	2	1	(六) 対義語(二字)	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(五) 音読み・訓読み(記号)	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	(四) 画数(算用数字)
						総画数											何画目										
底泣未席卒						ア イ ア イ ア イ イ ア ア イ											6 12 11 9 15 5 10 8 6 7										
2×5					(10)	2×10										(20)	1×10										(10)

ウ				イ			ア			(八) 同じ部首の漢字 (20)	7	6	5	4	3	2	1
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		浴びる	清らかな	照らす	建てる	浅く	望む	別れる
続	結	約	給	札	極	材	熱	然	無								

2×10 2×7 (七) 漢字と送りかな(ひらがな) (14)

五		四		三		二		一		(十) 同じ読み(記号) (20)	8	7	6	5	4	3	2	1
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1		衣	以	隊	帯	参	産	径	景
オ	イ	ア	エ	イ	ウ	ウ	エ	ア	オ									

2×10 2×8 (九) 同じ読み(漢字) (16)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
焼	害	牧	低	栄	松	失	塩	灯	末	副	菜	博	唱	仲	標	働	積	昨	飛

(十一) 漢字 (40) 2×20

(一) つぎの 1 線の漢字の読みがなを
— 線の右に書きなさい。

(30
1×30)

- 水平線に夕日がしずんでいく。
- かきの実が赤く色づいてきた。
- 先週から絵の教室に通い始めた。
- 白地図に学校の記号を書き入れる。
- つくえの上をいつも整理しておく。
- 山の登り口に立てふだがあった。
- 大きなたいこを力強く打つ。
- 病気のため三日間、学校を休んだ。
- 姉にグリム童話の本をかりた。
- 海の神様をまつる神社がある。
- 組み立て式の本だなを買った。
- 赤ちゃんと歯が生えてきた。
- 父が草笛のふき方を教えてくれた。
- 六年生を先頭に入場行進をする。
- 学級委員の決め方を話し合った。
- 羊のふさふさした毛にさわった。
- 足にけがをした子犬を助ける。
- 試合の後半でやっ点を取った。
- 自分の考えを文章でつたえる。
- 黒板に書かれた計算問題をとく。

横 7
界 4
開 5
式 1
飲 10
神 9
君 7
農 13
次 6
落 12

(二) つぎの漢字の太いところは、何番めに
書きなさい。○の中に数字を書きなさい。

(10
1×10)

(三) (一)の中に漢字を書いて、上はなんたいの
いみのことばにしなさい。

(10
2×5)

もやす — (消)す
明るい — (暗)い
心配 — (安)心
おりる — (乗)る
ちらばる — (集)まる

(四) おなじなかまの漢字を□の中に書きなさい。

(20
2×10)

速度・運転
相談・調べる
相・談
苦・い
予・想
都会・部分
悪・口
葉

○この答えを見て、書けなかったところは
どこか、まちがったところはどこか、
しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、
そのままにしないで、すぐに練習をして
正しくおぼえましょう。

〔不許複製〕

(五) つぎの (一) (二)の中に漢字を書きなさい。

(20
2×10)

計算のまちがいに注(意)する。
ねつが高いので(医)者にみてもらう。
まどから太(陽)の光がさしこむ。
たんすから冬物の(洋)服を出す。
(急)行電車が通りすぎるのを待つ。
かん電池と豆電(球)をつなぐ。
いるかが海を自(由)に泳ぎ回る。
この地区は和紙づくりで(有)名だ。
先生がおうえん歌を作(曲)した。
業(局)でせき止めの薬を買う。
(六) つぎの 1 線のカタカナを○の中の漢字を
おくりがなひらがなで□の中に書きな
さい。
〈れい〉(大)オオキイ花がさく。 大きい
1 遊 ぶ
2 向 ける
3 転 がる
4 寒 い
5 重 ねる

(七) つぎの 1 線の漢字の読みがなを
— 線の右に書きなさい。

(10
1×10)

ドッジボール大会の日時が決定した。
話し合っってはん長を決めた。
主人公のやさしさに感動した。
金魚が口をばくばくと動かす。
給食の時間に放送で普話を聞いた。
広々とした草原に羊を放す。
川の上流にあるダムを目指して歩く。
大空を白い雲が流れていく。
たん生日のプレゼントに期待する。
駅のかいさつ口で母と待ち合わせた。
(八) つぎの□の中に漢字を書きなさい。
1 学校の体 育 館 で音楽会が
開かれた。
2 二重とびができるようになるまで
何度も練習した。
3 練習した。

教室に学級 全員の図工の
作品がならんでいる。
4 ビルの屋上から、美しい
花火を見た。
5 工場見学の後、案内してくれた
係の人に、礼を言った。
6 えい画を見ているとき、
場面で見えだが出てきた。
7 多くの人の役に立つ道具を
発明する。
8 商店がいの福引きで二等が
当たった。
9 大学生の兄は大きな荷物
をかかえて、旅行に出かけた。
10 朝早く起きて庭に出ると、
小鳥の鳴き声が聞こえた。
— おわり —

(一) つぎの文をよんで、———の漢字の読みかきなさい。○の中にうろ字をかきなさい。

1 校門のそばのいちようは
はつぱが黄色くなってきた。

2 親ねこが、子ねこの首の
後ろをくわえてはこぶ。

3 せかい地図を見て、自分の
知っている国をさがした。

4 お姉さんが歌を歌う声が
ふる場から聞こえる。

5 しゆくだいの日記を先生が
読んで、よく書けていると
ほめてくれた。

6 わたしのおじいさんは古い
時計を直してもらって
大切に活かっている。

7 男の人がとばした矢が、遠くの
まどに当たった。

(二) つぎの漢字のふたひとはなんぼんに
かきなさい。○の中にうろ字をかきなさい。

交 雪 高 弱 場
10 5 6 9 4
用 船 絵 夏 科
5 11 12 10 9

(三) □にひらがなを一字かいて、つぎの
ことばのよみをこたえなさい。
(れい) 左右……さ()う

糸電話……いと()でんわ
夜空……よ()ぞら

通学……つう()がく
火星……かせい()

親友……しん()ゆう
風……むき()

(四) ○のころは、はねるか、とめるか、
正しいかたで○の中にかきなさい。
(れい) 字○下○下○

竹馬……たけうま
外国……がいこく
同点……どうてん

(五) つぎの文をよんで、———の漢字の
読みかきなさい。———の漢字の
読みかきなさい。○の中にうろ字をかきなさい。

九九を何回もれんしゅうする。
かんらん車がゆつくり回る。

れつの先頭に立つ。

よい考えが頭にうかんだ。

四角いさらにパンをのせた。

つぎの角を右にまがる。

コップに牛にゅうをそそぐ。

牛がしつぽで、はえをはらう。

町の中心に大きな公園がある。

心をこめておれいを言う。

———うらへつづく———

(六) つぎの漢字の読みかきなさい。○の中にうろ字をかきなさい。正しい
ほうのばんごうに○をつけなさい。

1 一まん円 ② 一万円
2 こう作 ① 工作 ② 土作
3 元き ① 元汽 ② 元気
4 た少 ① 多少 ② 名少
5 人げん ① 人間 ② 人聞
6 はん年 ① 米年 ② 半年

(七) れいのようにおなじな漢字を
□の中にかきなさい。

引……つな()き()強()い
草花……くさ()ちや()茶()
帰道……き()みち()近()い
数字……すう()じやう()教室()
明……あか()る()晴()れ
村人……むら()じん()山()林()

(八) つぎの漢字の読みかきなさい。○の中に漢字をかきなさい。

姉……あに()兄() 夕日……あさ()朝()日()
秋……あき()春() 行く……いく()来る()
南……みなみ()北() 歩く……ある()走る()
魚……いし()肉() 細い……ほ()太()い()
石……いし()岩() みじかい……なが()い()

(九) つぎの文をよんで、□の中に漢字をかきなさい。

1 計算……けいさん()もんだいをといて
2 答え……こた()え()あ()わ()せ()を()した()。
3 夏休み……なつやすみ()に、お母()さんの
ふる里()へ行った。

4 ふかい海()のそこは、
日の光()がどこなくて
まつくらだそうだ。

5 きこのうの昼()に、家()ぞくで
ピザ()を食()べた。

6 えき前のビル()の地下に
新しい店()ができる。

7 空()に黒()い雲()が
広()がり、今()にも雨が
ふりだしそうだ。

8 土曜()日は、毎()週()、
楽()しみにしている
テレビ番()組()がある。

○この答えを見て、書けなかったところは
どこか、まちがったところはどこか、
しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、
そのままにしないで、すぐに練習をして
正しくおぼえましょう。

1 つぎのぶんをよんで、———の
かん字のよみをかきなさい。

1 ぞうがりんごを一つ

はなでつかんで、口の

中に入れた。

2 四じかん目のたいいくで

てつぼうをした。

3 文ぼうぐやさんで、青い

下じきとかん字の

れんしゅうちようをかう。

4 天気(てんき)のよい日(ひ)に、村(むら)の

ひろい田(た)んぼを男(おとこ)の

人(ひと)がたがやしている。

円 音 九 糸 竹 五
2 5 1 3 4 2

田 村 字 手 虫 文
5 7 6 4 6 4

2 つぎのかん字のふといところは
なんばんめにかきますか。○の
なかにすう字をかきなさい。

10 手がみを出した。

6 大きなおばあさんに

17 車がとまってくれた。

5 おうだんはどうのまえに

15 立つと、右(みぎ)からきた

3 つぎのぶんをよんで、———の
かん字のよみをかきなさい。

音がくしつでピアノをひく。

たいこをたたく音がした。

かまきりはこん虫(ちゅう)のなかまだ

林(りん)にいつて虫(むし)をつかまえた。

ぼくは九月(くがつ)にうまれた。

こんやは月(つき)がきれいだ。

金メダルをくびにかける。

さいふにお金(かね)を入れる。

——うらへつづく——

4 つぎのこたばのよみがなて下さい。
ほうのばんごうに○をつけなさい。

1 十円 ① じうえん ② じゅうえん

2 下車 ① げしや ② げしや

3 大きい ① おうきい ② おおきい

4 二日 ① ふつか ② ふつか

5 町名 ① ちようめい ② ちようめえ

5 ① にひらがなを一字かいてつぎの
こたばのよみをこたえなさい。
(れい ふじ山……ふじさん)

左右……さゆう

石ころ……いしころ

七ひき……しちひき

百年……ひゃくねん

本日……ほんじつ

6 つぎの□のなかにかん字をかきなさい。

林……森 うみ……川

手……足 さかな……貝

木……花 けらい……王さま

くろ……白 おそい……早い

はれ……雨 はたらく……休む

1 ねん土で 2 耳のながい

うさぎをつくる。

2 小さな犬がしっぽを

ふってついてくる。

3 火よう日にえんそくて

6 水ぞくかんにいった。

4 かぞくて 力(ちから)をあわせて

にわの草(くさ)とりをした。

5 夕(ゆ)やけてくもが 赤(あか)く

6 山(やま)の上(う)から、うみに

うかぶふねが見(み)えた。

7 女(おんな)の子(こ)が 空(そら)に

むかってシャボン玉(だま)を

とばしている。

8 学(が)校(こう)のもの(もの)の(の)まえで

19 先生(せんせい)に あったので

あいさつをした。

——おわり——